

姉妹都市コラボランチ



二〇二四年、十一月二十三日、二十四日。茨木市農業祭で「姉妹都市オリーブ練り天ポップ」を販売した。使用食材は、小豆島にある小豆島ヘルシーランドさんのオリーブと茨木市にある藤熊食品さんの練り物である。

茨木市農業祭での販売

販売に向け、農業祭当日に揚げる実演販売のみを行えるよう、仕込みを行なった。まず、オリーブの種を除くために手作業でひとつひとつ身を剥がした。元々はストローを使い、身を剥がそうと考えていたが、ストローの太さとオリーブの実の大きさ・個体差が一致せず、うまくいかなかった。そのため、手で剥がすことになったが、剥がしづらいものもあり難しかった。その後、練り天生地と細かく刻んだオリーブを混ぜ、デイスチャーで一口サイズに生地をかたどり、蒸して仕込みを

終えた。全部で一二〇〇個もの練り天を仕込むのは大変であったが、メンバー五人で協力して作業を行い、無事仕込みを終えることができた。

農業祭当日！

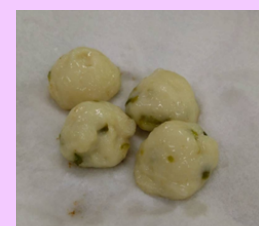
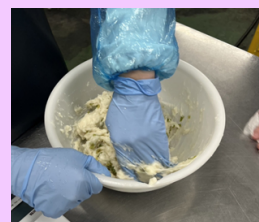
農業祭一日目。天気も良好で準備万端であると思われたが、ガスコンロの不調により販売開始が大幅に遅れた。すぐに新しいコンロを調達し、なんとか揚げることができたが、販売個数が想定していたものよりとても少なく、声掛けや通常よりも個数を増やして売る等を行ったが売れ行きや客足は悩ましい状況であった。



小豆島プロジェクト活動報告
姉妹都市
コラボランチ編

文責：福永実奈
淵脇梨葉
杉江似月

練り天
仕込み中！



二日目。販売開始の売れ行きは良い調子であったが途中大雨に見舞われ、再度販売がストップしてしまった。しかし、雨が止んだ後、値引きを行い、呼び込みを積極的に行ったところ無事完売させることができた。

二日とも予期せぬトラブルがあり、様々な面で不安感を覚えたが、力を合わせ農業祭を乗り切ることができ、やりがいを感じることもできた。

なにより、私たちが作った練り天をお客さんが美味しそうに食べている様子を間近で見たり、「おいしい」「もう一つ欲しい」という声が聞けたりしたことは本当に嬉しかった。

小豆島や茨木市の食材、姉妹都市関係について、プロジェクトについてなど、多くの要素で認知拡大に貢献できていると実感できた良い経験となった。



今回とこれから

今回の「姉妹都市オリーブ練り天ポップ」では、昨年度(二〇二三年度)の年度末報告書で課題として挙げていた、「茨木市についてもっと知りたい」「より茨木市に着目し、魅力を伝えたい」という点を達成できたと考える。

加えて、茨木市の企業である藤熊食品さんとのコラボが実現できたことで、更に姉妹都市の認知拡大に努められたと考える。

そのため、今後は小豆島の食材として、今回のオリーブに加え、他の食材のPRにも取り組んでいきたい。

編集後記

茨木市内で小豆島プロジェクトや小豆島町と姉妹都市である事の認知拡大に努めることができたと考えられる。その要素として、毎年多くの来場者がいる点や、市民が行き交う茨木市役所前という立地、小豆島町の姉妹都市ブースの設置という点が挙げられる。

昨年度に引き続きプロジェクトがこのような行政が主催するイベントに参加させていただけただけは、人との繋がりと継続の両方を学ぶ機会となったり、姉妹都市交流に関与したりする機会となったと考える。

来年度(二〇二五年度)も藤熊食品さんとの繋がりを継続し、販路拡大を目指したい。また、新たな繋がりを増やし、より多くの方々に姉妹都市について理解を深めてもらいたい。